学校番号	T0204

令和３年度　情報科

教科	（専）情報	科目	情報の表現と管理	単位数	２単位	年次	３～４年次
使用教科書	情報の表現と管理　（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報機器を使って情報を伝達、表現する技術を身につけましょう
インターネット、画像編集ソフト、プレゼンテーションソフトの活用方法を習得しましょう
自発的な活動や体験を通して表現力を伸ばすとともに、授業内でのグループ発表、全体発表をする機会を通して、プレゼンテーション手法を習得し、コミュニケーションスキルをつけましょう
実習では授業のはじめに復習・説明をすることが多々あり、遅刻をすると授業内容を理解することが難しくなります
座学では情報をより的確に伝達する手法について詳しく学びましょう
日々の課題、実技テスト、筆記テストなどで学習の到達度をみます

２　学習の到達目標

情報機器のしくみと、その活用方法を習得する
情報を表現する際に必要となる知識と技術を習得する
的確に情報を表現する能力を伸ばし、情報化社会で活躍していくために必要となる技能を習得する
発表を通してコミュニケーションスキルをつける

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報科の進展に主体的に対応しようとする	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している	情報及び情報技術を活用するための応用的・発展的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている	情報及び情報技術を活用するための応用的・発展的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 プリントの記述 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	情報機器の活用とメディア	・メディアの種類とその特性 ・情報の質とメディアの関係 ・コミュニケーションの重要性 ・コミュニケーションを成立させるための要件 ・コミュニケーションの種類とその特性 ・言語を必要としないコミュニケーション ・口頭説明、文書作成およびボディーランゲージの技法 ・マルチメディアを利用したコミュニケーション手法	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:メディアなどに興味をもち、情報社会に参画しようとしている。コミュニケーションについて関心を持ち、意欲的に発表しようとする態度がある。 b:コミュニケーションを成立させるための要件を考え、適切なコミュニケーション手段を選択している。 c:口頭説明、文書作成およびボディーランゲージの技法、マルチメディアを利用したコミュニケーション手法を体験的に身につけている。 d:メディアの種類とその特性、情報の質とメディアの関係を理解している。コミュニケーションの重要性、コミュニケーションの種類とその特性などを理解している。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・プリント ・実技試験 1 ・実技試験 2 ・実技試験 3 ・期末考査
	情報発信の基礎	・インターネットの概要とその仕組み ・イントラネット ・グループウェア ・Web ページの検索・保存方法 ・コンピュータにおける数値、文字、画像、音声、色の表現	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	○ ○	a:情報通信ネットワークについて関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。ユニバーサルデザインを基準とした情報の表現方法を積極的に取り入れようとしている。 b:インターネットなどにある多くの情報から、信頼・判断できるものを的確に選択することができる。 c:グループウェアの機能を活用することができる。Web ページの検索・保存をすることができる。ユニバーサルデザインの考え方を表現方法に組み込むことが出来る。 d:インターネットの概要とその仕組みを理解している。基本的なユニバーサルデザインの考え方を理解している。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・プリント ・実技試験 1 ・実技試験 2 ・実技試験 3 ・期末考査

後期	情報発信の活用	・プレゼンテーションの意義、必要性 ・プレゼンテーションの作成手順と、情報収集の方法 ・聞き手の調査と分析、情報収集 ・プレゼンテーションの内容決定 ・プレゼンテーションの原稿作成 ・プレゼンテーションソフトの使用方法 ・プレゼンテーションソフトの活用方法 ・配布資料、発表者用資料の作成 ・リハーサルとスライドの修正 ・話し方、態度、発問や応答、服装、会場確認 ・プレゼンテーションツールの特徴	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a:プレゼンテーションに関心を持ち、前向きな態度で実習に取り組もうとしている。プレゼンテーションによる情報発信に意欲を持ち、発表に対して前向きな態度で取り組もうとしている。 b:場面に応じてプレゼンテーションの題材を選定し、表現している。収集した情報を適切に使い分けることができる。発表内容に応じて適切な配布資料を選択することができる。配布資料を効果的に活用する方法を考えることができる。プレゼンテーションで使用するツールを的確に判断している。 c:プレゼンテーションの題材について、適切な手順、手段で情報を収集することができる。収集した情報を活用したプレゼンテーション内容となっている。話し方や態度などに留意してリハーサルを行い、スライドを適切な内容に修正することができる。プレゼンテーションによる情報発信が、全体に伝わりやすい発表となっている。 d:プレゼンテーションの手法を理解している。プレゼンテーションソフトの使用方法、活用方法を理解している。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・プリント ・実技試験 4 ・実技試験 5 ・期末考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。